

発電所敷地内における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/2 >

参考値

(データ集約 : 8/9)

採取場所	福島第一 西門		福島第二 MP - 1 (参考)				炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度) <sup>2</sup>
試料採取日時時刻	平成23年8月8日 7時00分 ~ 12時00分		平成23年8月8日 9時32分 ~ 9時42分				
検出核種 (半減期)	試料濃度 <sup>1 3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 <sup>1 3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 <sup>1 3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-			
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-			2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-			3E-03

1 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10<sup>-</sup> と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

2 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

3 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表 3 核種の検出限界値は次のとおり。

揮発性の I-131 が約 2E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134 が約 3E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137 が約 4E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状の I-131 が約 1E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134 が約 2E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137 が約 2E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

< 参考 >

8月6日採取分より検出限界濃度を低下させた結果、福島第一西門における検出限界値は以下のとおり。

揮発性の I-131 が約 1E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134 が約 4E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137 が約 4E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状の I-131 が約 8E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134 が約 2E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137 が約 2E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

発電所敷地内における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/2 >

参考値

(データ集約 : 8/9)

採取場所	福島第一 1号機山側		福島第一 2号機山側		福島第一 3号機山側		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度) <sup>2</sup>
試料採取日時時刻	対象外		対象外		平成23年8月8日 11時18分 ~ 13時18分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 <sup>1 3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 <sup>1 3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 <sup>1 3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	/		/		ND	-	
Cs-134 (約2年)	/		/		4.2E-05	0.02	2E-03
Cs-137 (約30年)	/		/		4.9E-05	0.02	3E-03

1 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10<sup>-</sup> と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

2 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

3 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表3核種の検出限界値は次のとおり。

揮発性のI-131が約5E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約2E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約3E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。